

東名古屋画像診断クリニック



最新のPET-CTと自然などの画像を投影した検査室＝名古屋市昭和区の東名古屋画像診断クリニックで

最新PET-CT導入

がん検査 来月、昭和区に移転開業

名古屋千種区の東名古屋画像診断クリニックが、2008年に県がんセンターの隣接地に開設。返却が必要となり、移転を決めた。運営する医療法人名古屋放射線診断財団は04年に国内で初めてPET-CT装置を臨床導入し、延べ21万件の検査を行ってきた。

旧施設は県の事業公募

新施設は5階建てで、延

べ床面積は約4250平方メートルと約1.5倍に拡張した。最新のPET-CTやMRIの検査装置を各2台導入し、検査時間は30分から20分に短縮。人工知能（AI）技術により、高画質で読影が可能になる。空間に映像を投影し、検査時間の緊張や不安を和らげる。会員向けの健康診断にプレミアムコースを新設し、高級感のある個室も増やした。内覧会で、岩田宏理事長は「より高度な機械と放射線診断専門医らの力で病気の見逃しを防ぎたい」と話した。（大野沙羅）